

認知症の情報交換・予防・相談ができるカフェ

オレンジカフェ静岡

3/19

2時～4時

コーヒー・紅茶
ハーフティ
お菓子
各 100 円

毎月第3日曜日



ミニ講話

静大講義「ジェンダーから見る現代社会」より

男女の仕事と生活をめぐる戦後史

― 自営業、サラリーマン、専業主婦、共働き…

高齢者の生きてきた時代変遷―

静岡大学教員 跡部 千慧さん



跡部 千慧さん

静岡大学大学院
融合・グローバル領域
男女共同参画推進室

オレンジカフェ静岡に、
ボランティアとしてご
協力いただいています。

今月は、オレンジカフェの中で、ミニ市民講座を開催。
いつもは静岡大学の学生と学んでいる《仕事と生活を
めぐる戦後史》について、オレンジカフェに参加する皆
さんと一緒に考えたいと思います。
ジェンダーって何？最近、政府が「女性が輝く日本へ」
と掲げるのはなぜ？
皆さんが生きてきた時代をふり返りながら、人生をよ
り豊かに生きるための知識を学んでみませんか！

声のワークショップ

元SBSアナウンサー 上藤美紀代さん

皆様の素敵な笑顔、大きく口を開いた真剣なお顔、
お腹から響くしっかりとしたお声に囲まれ、実は感動
で胸がいっぱいになっております。真摯に誠実に
人生を積み重ねていらした皆様のお顔の美しいこ
と！ お声の奥深いこと！ やはり人生の先輩は素
晴らしい!!です。



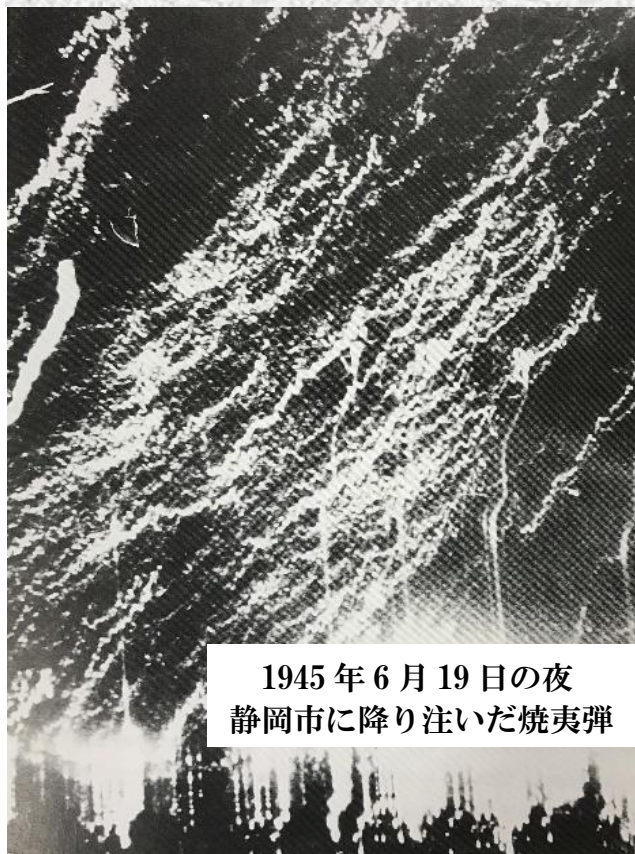
似顔絵コーナー

おなじみの似顔絵ボランティアです。
希望する方の似顔絵を描きます。
ご一緒にいらっしゃれない場合には
ご伴侶やお孫さんのお写真をご持参く
さい。
代金 100 円（色紙代をいただきます）

私たちが生きてきた時代の記憶から

悲しい思い出

古谷政三さん



1945年6月19日の夜
静岡市に降り注いだ焼夷弾

私たち高齢者が生きてきた時代の貴重な記憶を、後に続く人たちに語りましょう。投稿をお待ちしています。

この空襲のあった1945年6月19日の夜、当時（満13歳）、私、古谷政三は、田町一丁目の借家に、母ふみと一緒にいた。最初、天気がよいのに霧雨のような物（ガソリンらしい）が降ってきた。それから八幡の辺から爆撃が始まった。焼野原となった。明20日10時頃、街の様子を見る為、最初に三番町の辺りで猫の死がいを見ておどろいた。が、その後、12軒道路の角に（順天堂薬局のシャッター付倉庫）、大勢の人々が重なる様にして、30人程、黒焦げになって、山のような形で死んでいた。あた

り全部茶色になり、何とも言いようのない死臭が鼻につき、徐々に町の中心部へと足をはこんだ・・・ギョッ、恐ろしい光景だ。

（悲しい思い出）

（当時13歳）

この空襲があった1945年6月19日の夜、当時、私、古谷政三は田町一丁目の借家に、母ふみと一緒にいた。最初、天気がよいのに霧雨のような物（ガソリンらしい）が降ってきた。それから八幡の辺から爆撃が始まった。焼野原となった。明20日10時頃、街の様子を見る為、最初に三番町の辺りで猫の死がいを見ておどろいた。が、その後、12軒道路の角に（順天堂薬局のシャッター付倉庫）、大勢の人々が重なる様にして、30人程、黒焦げになって、山のような形で死んでいた。あた

会場 静岡市葵区城東町 34-14

城東コミュニティプラザ HapiSpo

会場提供

社会福祉法人 静和会

主催 特定非営利活動法人
ヒューマン・ケア支援機構

連絡先 ☎ 090-5620-6070

✉ orange@npo-humancare.jp

※駐車場有ります



バスでお越しの場合

静岡駅北口5,6番線からのすべてのバス
巴町下車 徒歩7~8分